

熊本市の取組

令和3年5月19日

熊本市 政策企画課

I SDG s とは (Sustainable Development Goals)

2015年の国連サミットで
採択された**2030年**までの
国際目標

誰一人取り残さない
No one will be left behind

我々の世界を変革する
Transforming Our World

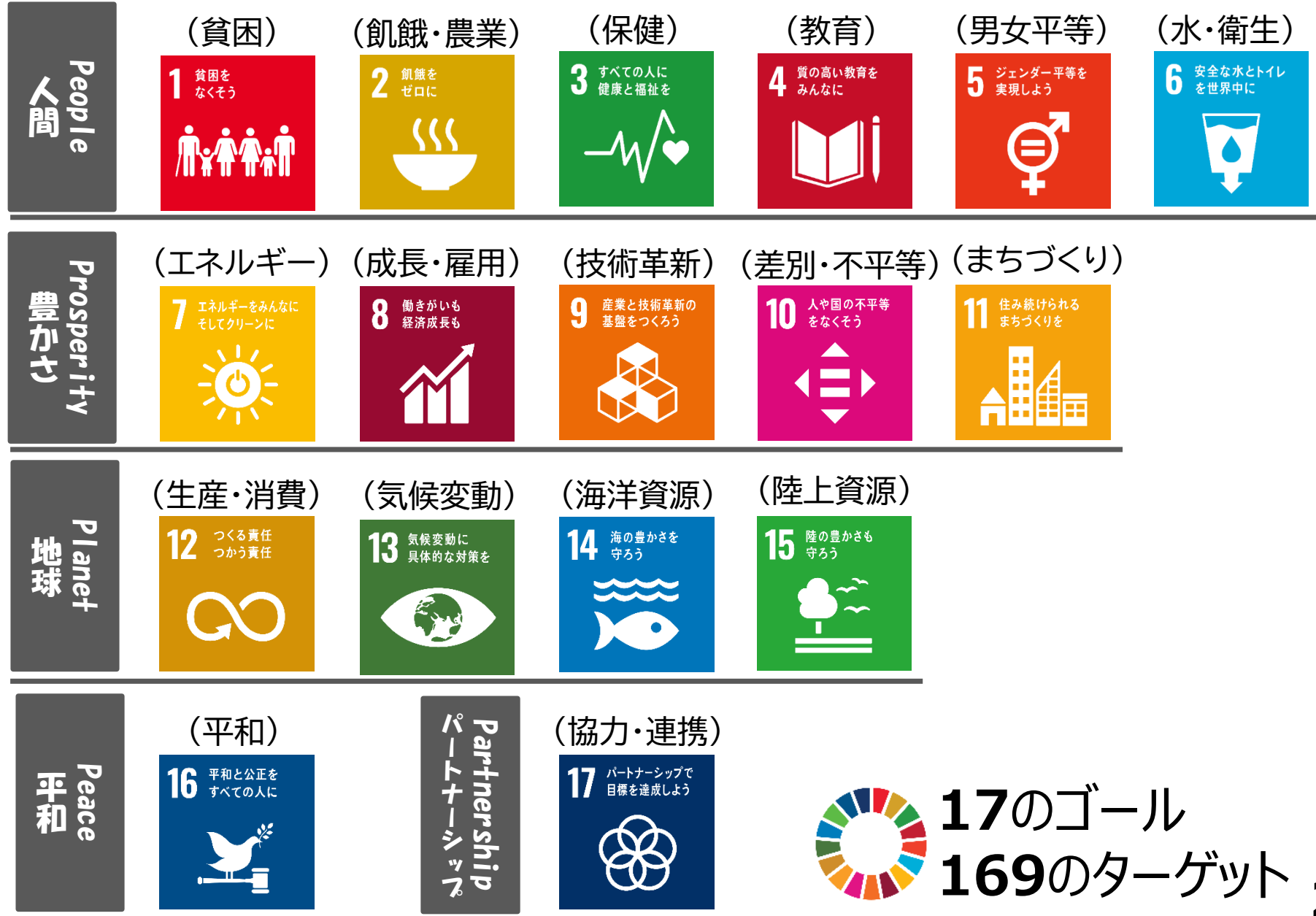
普遍性

包摂性

参画型

統合性

透明性



17のゴール
169のターゲット 2

ゴール 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

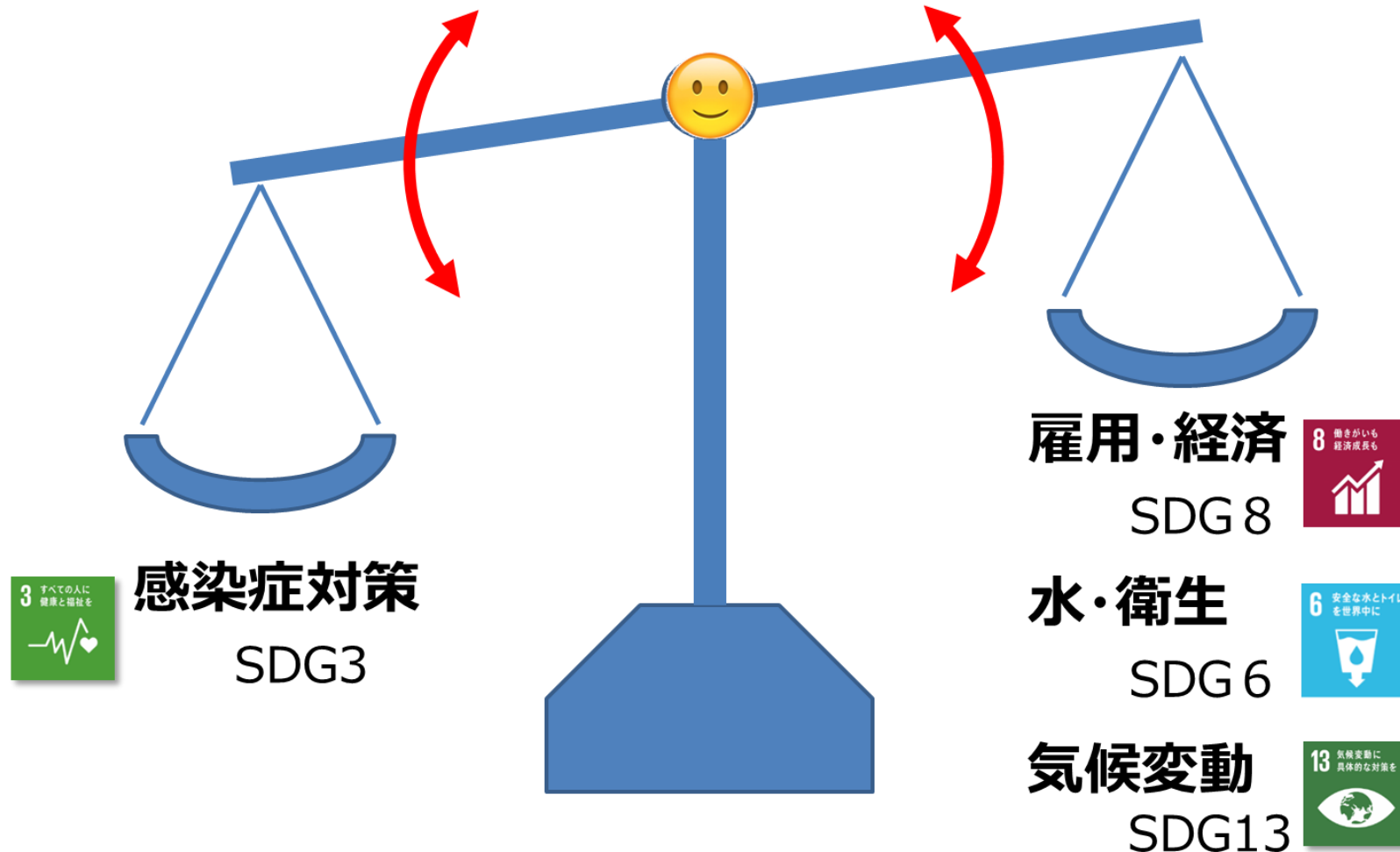
目標

- 3-1** 2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を10万人当たり70人未満に削減する
- 3-2** 全ての国が新生児死亡率を少なくとも出生1,000件中12件以下まで減らし、5歳以下死亡率を少なくとも出生1,000件中25件以下まで減らすことを目指し、2030年までに、新生児および5歳未満時の予防可能な死亡を根絶する
- 3-3** **2030年までに、エイズ、結核、マラリアおよび顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症およびその他の感染症に対処する。**
- 3-4** 2030年までに、非感染症疾患（NCD）による早期死亡を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。
- 3-5** 麻薬乱用やアルコールの有害な摂取を含む、薬物乱用の防止・治療を強化する。
- 3-6** 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる
- 3-7** 2030年までに、家族計画、情報・教育、およびリプロダクティブ・ヘルスの国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関するヘルスケアをすべての人々が利用できるようにする。
- 3-8** すべての人々に対する財政保障、質の高い基礎的なヘルスケア・サービスへのアクセス、および安全で効果的、**かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンのアクセス提供を含む**、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。
- 3-9** 2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質および土壌の汚染による死亡および病気の件数を大幅に減少させる。

実施手段

- 3-a** すべての国々において、たばこ規制枠組条約の実施を適宜強化する。
- 3-b** 主に開発途上国に影響を及ぼしている感染性および非感染性疾患のワクチンおよび医薬品の研究開発を支援する。また、ドーハ宣言に従い安価な必須医薬品およびワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護およびすべての人々への医薬品のアクセス提供にかかわる「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）」の柔軟性に関する規定を完全に行使する開発途上国の権利を確約したものである
- 3-c** 開発途上国、特に後発開発途上国および小島嶼開発途上国において保健財政、および保健従事者の採用、能力開発・訓練、および定着を大幅に拡大させる。
- 3-d** すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康リスクの早期警告、リスク緩和およびリスク管理のための能力を強化する

3-3 2030年までに、エイズ、結核、マラリアおよび顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症およびその他の感染症に対処する。



Ⅱ SDG s 未来都市・モデル事業について

- 国は、地方創生分野における日本の「SDGsモデル」の構築に向け、2018年度から「**SDGs未来都市**」及び「**自治体SDGsモデル事業**」を選定。
- 成功事例の普及展開等を行い、地方創生の深化につなげていく。

SDGs未来都市（93都市）

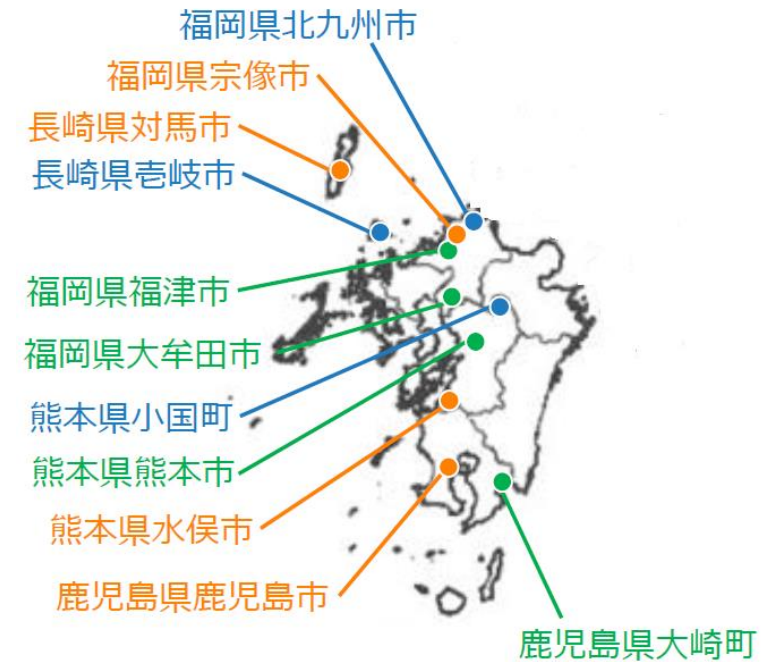
自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市

自治体SDGsモデル事業（30事業）

SDGs未来都市が提案する取組のうち、特に先導的な取組



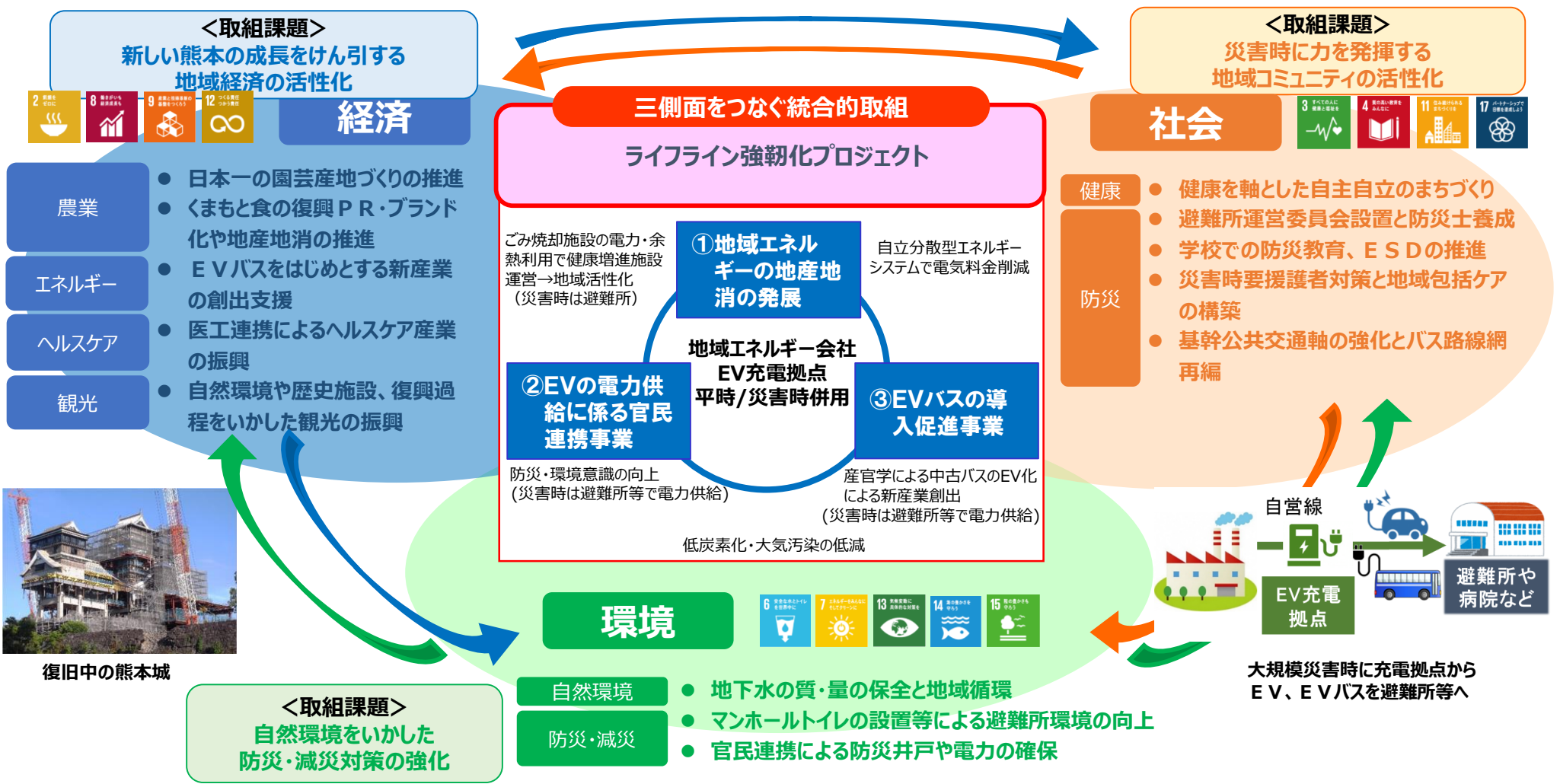
持続可能なまちづくり



III 熊本市の取組

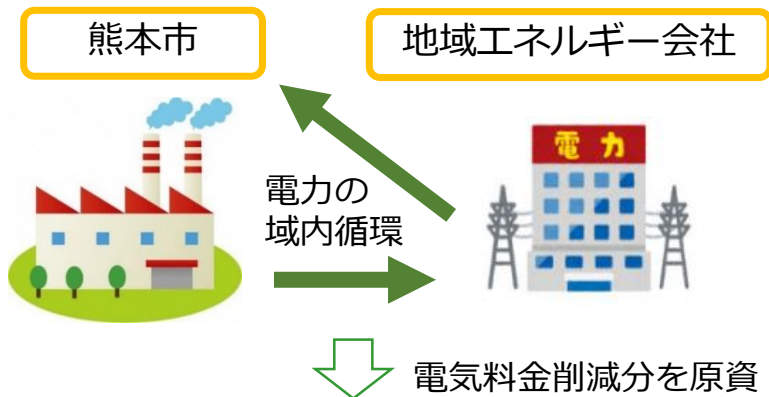
熊本地震での経験をいかし、自主自立のまちづくりを行う「地域主義」という基本理念にもとづいた「地域（防災）力の向上事業」により地域単位の防災力を高めるとともに、地域エネルギーの地産地消、EVによる電力供給、EVバスの導入促進等によりエネルギー（電力）を核としたライフラインの強靱化を促進。

熊本地震の経験と教訓をいかした地域（防災）力の向上事業



① SDG s モデル事業の推進 ライフライン強靱化プロジェクト

① 地域エネルギーの地産地消の発展



「熊本市省エネルギー等推進基金」



② E V の電力供給に係る官民連携事業

災害時、避難所等で電気自動車給電車として活用。



③ E V バスの導入促進事業

熊本大学開発のEVバスに改造し、熊本市が熊本城周遊バスとして運行。



大規模災害時 ⇒ 充電拠点から E V、E V バスを避難所等へ



② SDG s 未来都市 キックオフイベント等の開催



北部中学校の皆さん

③ 熊本市ホームページ、市政だよりによる広報



- SDGsに関する特設ホームページを開設

<https://sdgs-kumamotocity.com/>



まずは身近なところから

「誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」というSDGsの理念が世界中に広がっています。本市でもこの理念に沿った取り組みを、市民や企業の皆さんと一体となって、行っていきます。

市の人口 推定 739,674 (+39) 推定 327,840 (+141) 発行/熊本市広報課 電話 096-328-2111 (代表)
市役所 電話 349,156 (+27) 市役所 390,518 (+12) 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
(広報課 電話 096-328-2043 ファクス 096-324-1713) (E-mail kouhoucity.kumamoto.lg.jp)

④ 熊本連携中枢都市圏（18市町村）で地球温暖化対策実行計画を共同策定

- 熊本連携中枢都市圏で**2050年の温室効果ガス排出100%削減＝実質ゼロ**を目指す。



⑤ SDG s 推進に関する連携

2019年7月22日 日産グループ

2019年11月21日 三井住友海上

2020年1月29日 肥後銀行、地方経済総合研究所



⑥ SDGs登録制度の検討と推進

2020年2月からSDGs登録制度を、熊本県やSDG s 未来都市、上記企業等と連携して検討

今後、周知広報や登録企業へのフォローアップセミナー等を開催

平成31年度熊本県公立高校後期（一般）選抜試験

- 3 次は、高校生の大志（Taishi）と、クラスメートの里美（Satomi）、涼太（Ryota）、彩花（Ayaka）、そして、クラスで英語を教えているスミス先生（Mr. Smith）との、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）についての会話である。1～4の問いに答えなさい。

（注）figure＝図 as～＝～のように trash＝ごみ visitor＝訪問者

<One day in a class>

Taishi : What are these pictures in the figure, Mr. Smith ?

Mr. Smith : Good question. These are seventeen goals to change the world for the future.

Taishi : I see. I'm a member of the world, so I have to do something to make the world better.

Mr. Smith : ① So, today, I want you to choose one goal from the figure and think about something we can do for the world.

Satomi : Mr. Smith, ② Goal 11 ?

Mr. Smith : Good. Let's choose Goal 11 as Satomi said. I think we'll get a lot of ideas for our town. Now, please think about things we can do for three minutes.

<Three minutes later>

Mr. Smith : ③

Satomi : We can collect trash when we go to school and clean the streets near our school.

Ryota : I would like to help old people. For example, we can visit their houses and talk with them or go shopping for them.

Ayaka : I'm thinking about helping families with young children. We can read books to them or play with them.

Taishi : My idea is a little different from yours. It's to put many flowers around the station. We can welcome visitors with them.

Mr. Smith : All the ideas are great. The most important thing is to think about something we can do for our town.

Taishi : Yes. Maybe we can do only small things, but we should keep doing them to make our town better. Then we may change the world !

Figure



（国際連合広報センターホームページによる）

（注）この図はイメージであり、中の文字を読む必要はありません。

Goal 11



- 1 ①, ② に入れるのに最も適当なものを、次のア～カからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア Could you tell me your ideas ? イ I don't think so. ウ No, we can't.
エ Which goal did you choose ? オ Do you need more time ? カ That's right.

- 2 ③ に、会話が成り立つような英語を書きなさい。

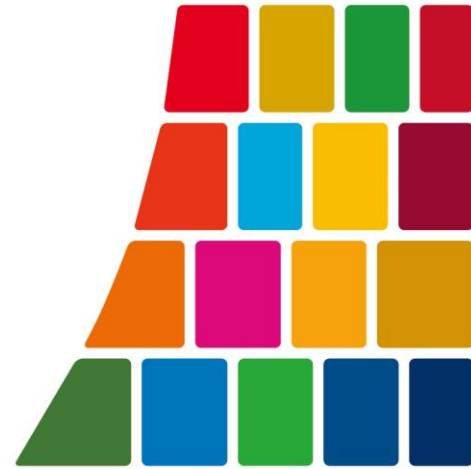
- 3 本文の内容に合っているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 彩花は、図についてスミス先生に質問をした。
イ 里美は、学校の近くの川を掃除する例を挙げた。
ウ 涼太は、子育てで忙しい家族の代わりに買い物をしたと言った。
エ 大志は、駅周辺に花を置き、訪問者を花で歓迎したいと考えた。

- 4 次の英文は、大志が書いた日記の一部である。大志とクラスメートやスミス先生との会話の内容をふまえて、文中の A, B に当てはまる英語を、それぞれ4語で書きなさい。

大志が書いた日記の一部

Today, we learned about seventeen goals to change the world and talked about Goal 11. We got a lot of ideas to A. We have learned that we have to think about something we can do. We may change the world if we B for our town.



Kumamoto
for SDGs

このマークは、熊本城の石垣のように、SDGsの17のゴールを一つひとつ積み上げることで、持続可能な社会を実現したいという思いが込められており、市民、企業、行政が一体となって取り組む象徴です。

使用申請は熊本市ホームページにおいて、「SDGs ロゴ」で検索！